

町内教育施設を調査

文教委員会

11月24日に、小中学校6校の施設点検を行いました。
また、12月17日に、3つの社会教育施設の点検を行いました。

小中学校の施設点検

児童・生徒の教育環境の実態を把握するため、各小中学校を訪問し、現場の声を聞きながら、学校施設の劣化状況等を確認して回りました。

校内に危険な箇所はないか、安全は確保されているか、工事や修繕状況はどうか等に重点を置き点検した後、各校長から要望事項を伺いました。

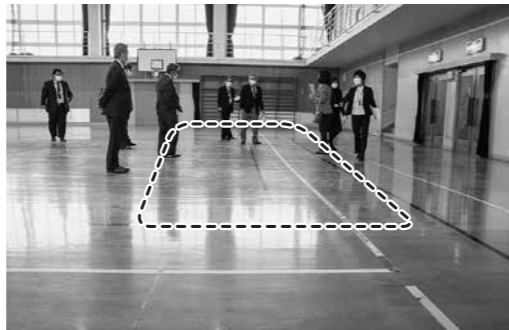
小中学校の耐震補強工事はすべて終了しましたが、経年劣化による、雨漏りや塗装のはがれなどが多く見られました。

(熊野東中学校)



▲美術室前渡り廊下入り口天井の雨漏り

(熊野第一小学校)



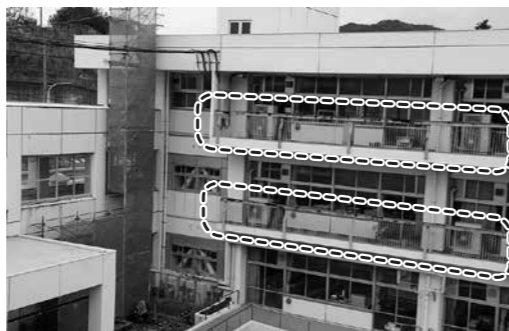
▲体育館 正面入り口付近の床のたわみ

(熊野第二小学校)



▲南校舎南面のコンクリートのはがれ

(熊野第四小学校)



▲北校舎 手すりのさび

当委員会では引き続き、安全・安心かつ快適に利用できる教育施設の整備に向け、調査・要望していきます。

県道矢野安浦線工事の進捗等を確認

産業建設委員会

11月5日に委員会を開催し、建設農林部及び水道部各課からの説明の後、次のとおり質疑しました。

○令和3年度の主要事業の実績と進捗状況について

Q1 筆の里工房周辺整備事業について、県の砂防事業工事との調整について説明を。

A1 公園の奥に、県が砂防堰堤を2基作る予定となっている。公園整備に関して県と協議をしながら、砂防堰堤工事を優先して計画を進めていきたいと考えている。

Q2 萩原交差点付近が大雨のたびに冠水しているが、町の対応はどうか。

A2 県と連携しながら排水について、流域の調査を昨年始めた。どのような工事が必要か検討している。

○県道矢野安浦線道路改良事業の進捗状況について

Q1 ハローズ前の道路の脇に広いスペースがあるが、どのような計画になっているか。

A1 今は2車線だが、将来的にはトンネルを出たところから4車線になる計画となっている。

Q2 県道矢野安浦線の延長先は黒瀬方面までつながるのか。

A2 今現在の計画では阿戸別れ交差点であるが、熊野黒瀬トンネル方面につなげるのも一案と考えており、要望していく。

Q3 トンネル無料化により渋滞が増え、狭い町道まで車の進入が目立つ。事故の情報はないか。

A3 事故が増えたとの情報はないが、危険な状況になっていることは認識している。警察とも協議していく。



▲新設された県道（ハローズ前）

今後も当委員会の所管事務分野において、主要事業の実施状況等を確認し、住民生活の利便性向上と安全性の確保に努めていきます。

ひとこと

熊野町の町花・町木である梅の開花便りが聞こえ始め、春が待ち遠しい季節になってまいりました。

ワクチンの三回目接種が進められ、感染症と共存し日常生活が元に戻ることを願っております。3月の定例会では、新年度予算が審議され、まちづくりに向けた新しい事業が進められることとなります。

町民の皆さまに、議会への関心をより一層、持ってもらえるよう今年も分かりやすい紙面になるよう心掛けてまいります。
竹爪 憲吾

次の定例会は

3月8日
(火曜日)

開会を予定しています

議会だより題字

小田原正龍さん